

第3回 食品産業生産性向上フォーラム

in 金沢

開催日時：

2018年(平成30年)6月5日(火)
13:00～17:30(開場12:30)

開催場所：金沢商工会議所

フォーラムの趣旨

昨今、食品製造業の人手不足・人材不足の問題が深刻化しており、生産性の向上が急務となっています。しかしながら、どのように生産性を向上させ、またそのための課題にどのように取り組むかを各企業が独自で見つけ出すのは非常に難しい状況です。そこで、農林水産省では、食品製造業の生産性の向上に関する専門家の講演、実際に生産性向上に取り組む現場の事例紹介、生産性向上を目指す支援業者(メーカー等)のプレゼンテーション、講演者や支援業者との交流等を内容としたフォーラムを開催致します。

プログラム

13:00-13:15 開催主旨説明

農林水産省食料産業局食品製造課

13:15-14:05 基調講演

「食品製造業の生産性低迷の原因と打開策」

弘中泰雅氏(食品産業生産性向上フォーラム企画検討委員長)

「食品産業における機械化・ロボット化の現状とポイント」

高本治明(一般社団法人日本ロボット工業会)

14:05-15:05 生産性向上に向けた先進事例紹介

河原崎宏之氏(株式会社ジェイアール東海パッセンジャーズ 代表取締役社長)

青木伸輔氏(株式会社オフィスエフエイ・コム General Manager)

15:20-17:20 生産性向上支援事業者によるプレゼンテーション及び交流会

(工程改善、意識改革、IT活用、機械化自動化等による食品製造業生産性向上を支援する事業者によるプレゼンテーション)

17:30 閉場

講師紹介



弘中泰雅氏(農学博士、水産学修士)

食品産業生産性向上フォーラム企画検討委員長
テクノバ株式会社代表取締役

日本生産管理学会 理事、日本穀物科学研究会理事

専門分野：2年で20%生産性向上を目標に全国の多様な食品工場の生産性向上に取り組む。「食品工場の生産性2倍」など食品工場の生産性向上に関する著書多数。

Mail: hironaka@technova.ne.jp HP: <http://www.technova.ne.jp/>



河原崎宏之氏

株式会社ジェイアール東海パッセンジャーズ 代表取締役社長

昭和52年国鉄入社。昭和62年民営化に際し

JR東海に入社後、人事部にて業務改善関係に

長く従事し、平成22年執行役員関西支社長、平成26年常務執行役員静岡支社長に就任。平成28年から、現職。



青木伸輔氏

株式会社オフィスエフエイ・コム General Manager

株式会社FA.Regalo 代表取締役

電気・機械・制御からソフトウェアまで現場の自動化に必要なあらゆる工程に精通するとともに、ほぼ全メーカーのロボットに対応可能な国内でも貴重な独立系ロボットSIer。



高本治明

一般社団法人日本ロボット工業会 客員研究員

経済産業省「ロボット導入実証事業」事務局の

実務責任者を3年間、「システムインテグレーション事業」事務局の実務責任者を1年間担当し、400件に及ぶ最新ロボット導入事例に触れる。FA・ロボットシステムインテグレーション協会設立準備事務局も担当。

支援企業一覧

(株) セールスフォース・ドットコム - 世界 15 万社で利用され、生産性向上を実現する顧客管理システム - <https://www.salesforce.com>

食品製造業界では「多品種少量生産」「市場の変化」などを背景に生産性向上が強く求められていますが、その対象は製造現場だけではなく、多くの食品メーカーが取り組む「製造現場以外」の生産性向上について最新事例をご紹介します。セールスフォース・ドットコムは世界 15 万社で利用される世界 No.1 の顧客管理システムであり、国内ではグリコ様、エバラ食品工業様などを代表に多くの食品メーカー様で利用されています。

〒100-7012 東京都千代田区丸の内 2-7-2 JP タワー 12 階 TEL:03-4222-2066 Email:rhoriguchi@salesforce.com 担当:堀口 嶺

[ソフトウェア]

ニチワ電機 (株) - 外食中食産業の省人化と生産性向上 - <http://www.nichiwadenki.co.jp/>

業務用厨房機器専門のメーカーとして、従来迄の個別の調理法から、同時に別々の調理を仕上げる、混流生産方式を提案。また、モノの移動運搬を自動でサポートするシステム、労働環境改善の直換気空調システムについても、一級建築設計事務所の立場からのご提案致します。

〒921-8061 石川県金沢市森戸 2-13 ニチワ電機株式会社 金沢営業所 TEL:076-249-7521 Email:koyana@nichiwadenki.co.jp 担当:金沢(営) 所長 小梁 宣彦

[厨房機器メーカー]

(株) バイナス - センシング技術を駆使し、農業分野のロボットによる自動化を実現 - <http://bynas.com/>

業界問わず「人の目を変えるビジョンカメラ」、「人の手に変わる力覚センサー」、「人の手のようなユニークなエンドエフェクタ」を使い自動化を実現する産業用ロボットシステムインテグレート (Sier) です。また、最近では農業、食品等の個体差、掴みにくいワークをセンシング技術を使い高精度でワークを仕分け、整列するロボットアプリケーションの開発も手掛け、農業分野にも力を入れております。

〒490-1312 愛知県稲沢市平和町下三宅委池 917-2 TEL:0567-69-6983 Email:honbu@bynas.com 担当:川口、辻

[ロボット Sier]

オムロン (株) - 人手不足や技術継承等の食品製造現場の課題解決策をご提案 - <http://www.fa.omron.co.jp>

人手作業の自動化ご提案 弊社はロボットのみでなく、その前後工程も含めた自動化提案で食品製造業のお客様の人手不足対策への解決策をご提案します。例えば、食品の焼き温度調整 (温度制御) 整列搬送 (コンベア制御) ~ 良否検査 (画像センサ) ~ トレー・袋詰め (ロボット) 等、従来人手に頼らざるを得なかった工程の自動化をご提案、また品質・稼働データの活用によりお客様の生産性向上に貢献します。

〒920-0031 石川県金沢市広岡 3 丁目 1-1 金沢パークビル 10 F TEL:076-233-4770 Email:natsuki_iwamoto@omron.co.jp 担当:中日本営業課 (金沢) 岩本夏樹

[ロボットメーカー]

CKD (株) - 新方式助力装置パワフルアーム - 空気圧で重量物の搬送をアシスト - <https://www.ckd.co.jp>

「働く人のために」をコンセプトに、職場での作業負担軽減と作業者の安全確保に貢献する「ヒューマンアシスト製品」です。下からのアクセスを可能にした新しい方式の助力装置で、多軸仕様で折りたたみ格納ができ収納時もコンパクト。用途や場所に合せて最大 3 軸まで自由な組み合わせが選べ、より高く、より遠くへの重量物搬送が可能になります。女性やシニア活躍職場の実現、多人数作業の改善、生産性向上に貢献します。

〒920-0025 石川県金沢市駅西本町 3-16-8 TEL:076-262-8491 Email:k-himiyama@ckd.co.jp 担当:所長 水見山和学

[ロボットメーカー]

(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 (略称: 農研機構) - 農研機構は、みなさまと共に食と農の未来を創ります - <http://www.naro.affrc.go.jp/index.html>

農研機構は、我が国の農業・食品産業の発展のための研究開発を担う機関です。農研機構の中には、本部、5 地域農業研究センター、7 研究部門、3 重点化研究センター等があり、全国各地で研究開発及び技術普及を実施しています。2001 年に、国の 12 研究機関を整理統合し、「農業技術研究機構」が発足したのが始まりです。

〒305-8642 茨城県つくば市観音台 2-1-12 農研機構食品研究部門 TEL:029-838-6993 Email:kazutaka@affrc.go.jp 担当:山本和貴

[研究機関]

(株) シナプスイノベーション - 食品製造業をもっと強く IoT を活用した次世代生産管理システムのご紹介 - <http://www.synapse-i.jp>

食品製造業が抱える 4 つの経営課題 『原価管理』『在庫管理』『生産計画の最適化』HACCP 義務化時の『品質管理』の課題解決を食品製造機械・計量器・検査機器・ロボット etc から取得した各種データとの IoT 連携により実現する次世代生産管理システム 『J-WALD』。その機能を製造工程を例にご説明いたします。

〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2-2-2 近鉄堂島ビル 20 TEL:06-6343-1227 Email:contact@synapse-i.jp 担当:市川 裕則 (いちかわ やすのり)

[ソフトウェア]

(株) エムジェイ・エムジー - 食品産業の生産性向上を生産活動の業務改善と IT 化から支援します - <http://mjmg.co.jp/>

生産性向上を実現するためには、生産活動の実態を数値で把握し、それを活用することが重要です。そのためには転記削減のため IoT を活用した製造実績データの把握。さらには、その収集データによる実績原価計算。また、生産性把握や製造ロス率把握により実態を認識し、改善活動に結びつけることが不可欠です。

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-2-14 日本橋 KN ビル 4 階 TEL:090-8104-0177 Email:shimizu-hideki@mjmg.co.jp 担当:清水秀樹

[コンサルティング]

講演企業

(株) オフィスエフエイ・コム - 独立系ロボット Sier 国内外 2000 工場以上の自動化を実現 - <http://www.office-fa.com/ja/index.html>

電気・機械・制御からソフトウェアまで現場の自動化に必要なあらゆる工程に精通するとともに、ほぼ全メーカーのロボットに対応可能な国内でも貴重な独立系ロボット Sier。特に、今後有望視される三品産業 (食品、医薬品、化粧品) と物流業界に対して、新たなロボットや部材をいち早く採用することで課題を解決するなど先鋭的な取組を展開し、その高い技術力・ノウハウを活かしフロントランナーとしての地位を確立。

〒329-0216 栃木県小山市檜木 293-21 TEL:0285-41-1140 Email:s.aoki@office-fa.com 担当:青木伸樹

[ロボット Sier]

プレゼンテーションスケジュール

- 15:20 ~ 15:35 [A 区] (株) セールスフォース・ドットコム [ソフトウェア]
- 15:35 ~ 15:50 [B 区] ニチワ電機 (株) [厨房機器メーカー]
- 15:50 ~ 16:05 [A 区] (株) バイナス [ロボット Sier]
- 16:05 ~ 16:20 [B 区] オムロン (株) [ロボットメーカー]
- 16:20 ~ 16:35 [A 区] CKD (株) [ロボットメーカー]
- 16:35 ~ 16:50 [B 区] (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 [研究機関]
- 16:50 ~ 17:05 [A 区] (株) シナプスイノベーション [ソフトウェア]
- 17:05 ~ 17:20 [B 区] (株) エムジェイ・エムジー [コンサルティング]

主催: 農林水産省
後援: 一般社団法人日本生産管理学会

実施: 一般社団法人日本ロボット工業会
TEL: 03-3434-2919
Mail: takamoto@jara.jp (担当: 高本)